

● 須崎市海のまちプロジェクトに基づく「須崎縁日商店街飾りつけ」 「シンボルロード灯籠設置」へのご協力について

各 位

令和7年1月

高知信用金庫（理事長・山崎久留美）は、須崎市（楠瀬耕作市長）と主催する「須崎市海のまちプロジェクト」による海のまちエリア中心市街地整備事業の一環として、「須崎縁日商店街飾りつけ」「シンボルロード灯籠設置」にご協力させていただきました。須崎縁日商店街の企画には、公益財団法人地域みらい財団（理事長・山崎久留美）も、ご支援させていただいております。



須崎縁日商店街は、中心市街地の賑い創出による活性化を目的とし、須崎大漁堂、須崎のサカナ本舗が位置する古市通りに縁起めでたい飾りつけを施し、古き良き時代の商店街の面影を再現しています。今回、海のまちエリア中心市街地整備事業の一環として、縁日商店街の飾りつけをリニューアルしました。



縁起めでたくリニューアル

新たに縁日商店街に飾りつけされたデザインは、縁起めでたい五色布や客の鈴なりをイメージして制作されています。古き良き面影が残る商店街をぜひ散策してください。

たくさんの方が訪れていただける街に

須崎市の活性化においては観光化に取り組むことが重要であると考えています。縁日商店街の北側にあるシンボルロードには大きな灯籠を2基、小さな灯籠を12基設置しました。この灯籠は西暦400年から京都と連動して続く須崎市の歴史を現しています。



須崎百寿門もライトアップ

須崎市の取り組みとして須崎百寿門もライトアップ。夕方の街並みが美しく、シンボルロードの灯籠から百寿門が街へのお客様を迎えます。

須崎市海のまちプロジェクトについて

「須崎市海のまちプロジェクト」は、中心市街地の活性化やコンテンツ制作・仕組み創りなど須崎市のアクティブな活動を、当金庫が創立100周年事業として強力的にバックアップすることとしており、高知県・信金中央金庫・高知大学・須崎総合高校の産官学連携による強力な支援と各界の幅広い後援を受け、積極的に取り組みしています。魅力溢れる奥四万十の玄関口として、当金庫の創業地須崎市がたくさんの方に訪れて頂ける街となるよう、今後とも海のまちプロジェクト推進に貢献してまいります。